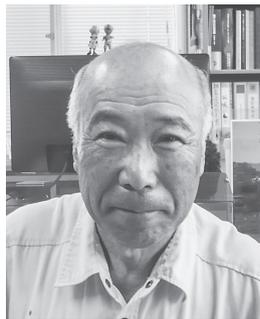


## ずっと現役！次は何をしようか！

土地家屋調査士 加藤芳雄事務所



代表 加藤芳雄氏  
柏崎市田中19-23  
Tel.24-4927 Fax.24-4911

衣替えも近い五月の下旬、市内田中にある土地家屋調査士、加藤芳雄さんの事務所に伺い、話しをお聞きしました。

加藤さんは、出雲崎町のご出身で昭和二十三年生まれの七十歳。西越中学を卒業後、十五歳で東京の工務店に就職し大工さんの見習いを始めました。そこで見習いとして四年間、その後は職人として勤めました。その間、二十三歳で、地元出雲崎の奥様と結婚、東京での生活が始まったそうです。工務店で働きながら、建築士の資格を取り、その後土地家屋調査士の資格も取得したそうです。土地家屋調査士は、実務経験がなくても試験が受けられますが、現在でも合格率は約八%、資格を取られた昭和四十九年頃はもっと低く狭き門でした。その資格を取っていたことで、

その後の生活が大きく変わりました。

二十六歳で出雲崎に戻り、大工さんとして二年働きましたが、仕事が少なくなり、土地家屋調査士として独立することを決意。しかし全く実務経験がなかった為、柏崎の土地家屋調査士事務所で二年の実務経験を積むことに。その後、昭和五十年八月に若葉町にあった建設会社の一角を借りて独立開業。六年後に不動産会館に移転。そして昭和六十年、現在地に事務所を新築移転しました。

開業した頃は、赤坂山の団地など多くの団地造成があり、また高速道路や八号線バイパスなどの工事が続き、とても忙しい状況が続いたそうです。その頃は、柏崎に土地家屋調査士は三十名以上が活動していたようですが、現在は十名位まで少なくなりました。

仕事の上での重要な点は、人とのつながりと話される加藤さん。社訓は、「誠実に勝る智慧はなし 近道と楽な道はない」

バイクと満面の笑みの加藤さんの写真が飾られていたので、お聞きすると、「今はもう手放しました。バイクには三十年以上乗っていましたが」車種をお聞きすると、ヤマ

ハXS650とのこと。いろいろなところにツーリングに行かれたそうです。昭和五十年代に非常に人気のあったバイクの一つで、エンジン音が特徴的だったことを思い出しました。奥様に、「危ないから」と言われ、バイク仲間に譲ったそうです。

お酒は？ 晩酌はしないそうですが、仲間と行く飲み会で騒ぐのが大好きで、今も定期的に集まって、飲んで、カラオケにも行っているそうです。

ご家族は、奥様と息子さんの三人家族。東京から戻ってからは、ずっと出雲崎町に暮らし、田んぼも自家消費分くらい作っているとのこと。

現在の夢は、長期計画でホバーラフト？を一から作りたいと話してくれた加藤さん。お話を伺いながら、年を感じさせないバイタリテイに、刺激を受けた取材となりました。

(十人衆 販・町取材)

